

番組部門上映時間

No.	作品名	ジャンル	時間	学校名	制作意図・作品概要
ラジオ部門					
1	あたりまえの裏側	創作ラジオドラマ	13:32～13:41	富岡西高校	みなさんはスマートフォンのない生活を考えたことがありますか。今日私たちは連絡手段として利用するだけでなく、スケジュール管理や目的地まで案内してもらうなど、スマートフォンを使って快適な生活を送っていることが当然だと感じています。今回、スマートフォンを擬人化することで、私たちが当たり前だと感じていることがどれだけ幸福で恵まれていることなのか、改めて感じてもらうためにこのラジオドラマを制作しました。
2	無題	創作ラジオドラマ	13:41～13:49	富岡東高校	誰でもスランプになったり葛藤に襲われることはあると思います。主人公のえみはその内の一人で、百合子という一人の人物に出会ったお陰で絵を描く本当の楽しさに気がきます。「無題」という題名には「作品というものを題名というフィルターにしばられることなく自由に羽ばたいて欲しい」という意味が込められています。今回は私達のそうした気持ちを主人公えみに代弁してもらいこの作品をつくりました。
3	SEITOKAI WARS	創作ラジオドラマ	13:49～13:57	富岡東高校	制作した時期が文化祭準備期間でした。メンバーの中にも生徒会役員がおり、文化祭のためにたくさんの活動や準備をしていました。そこから文化祭を開催するために奔走する生徒会をモデルにお話を作りました。
4	つまらない日々	創作ラジオドラマ	13:57～14:05	城北高校	何事もなく淡々と過ぎていく日々を退屈だと感じたことはありませんか。ゲームやマンガのように刺激的な日々を送ることが出来たらきっとそれは楽しいことでしょう。けれども、現実には補習や授業、部活動と日々同じことの繰り返しで何も起こりません。私たち自身も平凡な日々嫌気がさし当初の目標や意欲さえも見失っていることが多くあります。本当に大切なものとは何気ない日々にかこ隠れているのではないかと考え制作しました。
5	邪馬台国トリップ紀	創作ラジオドラマ	14:05～14:14	城北高校	「なぜ過去のことを学ばなければならないのか。」歴史が苦手な人はきっと、こういった考えを持つ人が多いのではないのでしょうか。しかし、歴史は我々が想像しているよりもはるかに深いものです。その点歴史は、学んで覚えるだけの科目ではなく、楽しんで覚えることができ、さらにそれを研究することだってできます。少しでも、歴史の面白さに興味を持っていただけたらと思い、これを制作しました。
6	夢世界	創作ラジオドラマ	14:14～14:22	徳島北高校	友達との関係 不安になることはありませんか？楽しい学校生活を送るにはそういう人間関係が大切です。その関係で確固たる物があると安心しますよね？しかし、それは客観的に見ると良いものなのでしょうか？
7	My Life	創作ラジオドラマ	14:22～14:31	徳島市立高校	あなたの生活は何か縛られていますか？例えば、見栄え、順位、もしくはスマホなどの電子機器。便利になった反面、今まで出来ることができなくなったと感じることはありませんか？そのような生活は本当に「自分らしい自由な生活」といえるのでしょうか。…利便性を取るか、それとも自由を取るか。これからの未来に必要な選択となってくると思います。そのことを考えてもらいたいと思い、この作品を制作しました。
昨	あたしは××	創作ラジオドラマ	14:31～14:39	城北高校	★昨年度最優秀作品
AP部門					
1	すだち奮闘記	AP	14:46～14:52	城北高校	阿南と神山のEUへのすだちの出荷は、昨年より増加し、特に神山では12倍にもなっている。一見すると順調に見えるが実は様々な問題を抱えている。阿南では県外から生産者として20代、30代の生産者が増加し市場拡大につながっているが、神山では地形や高齢化問題がある。すだちのEU進出はこれらの問題を改善し、すだちのブランド化をはかる目的もある。神山では出荷できないすだちをどうするか知恵を出し合っている。一方あぐりあなんでは国内の市場拡大が進み、丸亀製麺やコンビニとのコラボで販売を伸ばしそうとしている。少しずつ認知度も上がったため、今の悩みは生産量の問題へと移った。また、EUへの出荷にあたり、各地域に共通するのは使用農薬の問題である。日本では緩いものの、ヨーロッパではその基準が厳しい。一方で出荷可能なすだちの使用方法でも様々な工夫をしている。このような問題を抱えつつ、この夏阿南のハウスすだちがEUへ旅立った。
2	守りたいものが、ここにある。	AP	14:52～14:57	城東高校	「金長神社」それは徳島の人なら必ず一度は耳にしたことがある徳島が世界に誇る名所です。しかし、そんな金長神社が駐車場になるかもしれないという危機に陥っているのです。そこで私達は実際に金長神社に足を運び様々な方々に意見や今の気持ちを伺いました。神社の取り壊しについて金長神社を守る会の会長服部宏昭さんと、月に一度行われている金長さんへのお礼の清掃活動に参加していた地元住民のうちの二人にお話を伺いました。地元住民には金長神社に価値があると思っている人と価値が分らないと思っている人がおり、双方の意見や今の気持ち、さらに今行っている取り組みについても質問しました。また、3月から行っている署名活動についてもお話を伺いました。金長神社を知っている人にも知らない人にも訪れたことがある人にもない人にも金長神社の魅力について知ってもらい、ぜひ実際に足を運んでもらいたいと思い制作しました。
3	方言もと暗し	AP	14:57～15:03	徳島北高校	最近、方言を使う人が減ってきていると感じませんか。この問題について徳島大学の方言について詳しく研究されている岸江教授にお話を伺ってみました。教授によると標準語化がどんどん進んできており、方言が消えていくことは仕方のないことであり、記録するなど形として残していきたいと話します。そこで教授が昨年阿波弁の番付表を作成して配布したところ、特に県外の方からの反響がとても大きかったそうです。そこで私たちは徳島県外出身の方と徳島から県外へ出て行った方にインタビューをしました。徳島から離れたところからは阿波弁は魅力的であるということが分ります。身近なものだからこそ、地元の人たちにとっては何でもないもののように感じられてしまっていますが、魅力にあふれたものであり、消えてしまうのは本当に悲しいことです。地元の人が方言の良さを再認識し、少しでも長く使って残していけるようにしていきたいです。
4	阿波blue!	AP	15:03～15:08	徳島市立高校	皆さんはJapanBlueと聞くとなにを思い浮かべますか？今はサッカー選手のユニフォームの色と思う人もいかもしれませんが、実はこの言葉は藍染めの藍色からきています。徳島はそんな日本を代表する色である藍染の染料となる阿波藍の名産地です。しかし変わっていく世の中で藍栽培は途絶えようとしたこともありました。今も課題は尽きません。そんな中地元に残る伝統を守り続けている人たちがいることを知りました。今回はそんな取り組みに目を向け、私たち若者と伝統とのこれからの関わり方について考えてみました。
昨	沃野阿波	オーディオピクチャー	15:08～15:14	徳島市立高校	★昨年度最優秀作品
VM部門					
1	救え！金長神社の危機	VM	15:15～15:20	富岡東高校	ある日ニュースで「金長神社が取り壊される」ということを知りました。金長神社はジブリ作品の「平成たぬき合戦ぼんぼこ」のモデルとなっており、また、小松島の人達にとっても大切な存在です。私たちは街頭調査や金長に詳しい方へのインタビューを通して、金長神社への思いや金長の魅力についてせまりました。さらに、自分たちの考察も交えて調査を進めました。
2	名脇役	VM	15:20～15:26	城北高校	徳島県のマスコットキャラクター「すだちくん」。東四国国体の時に登場し、今年で25周年を迎える。県民に愛され、無償でのイラスト使用ができるなど、情報発信にも力を入れており県内での認知度は高い。しかし、「すだちくん」がどこでどう活躍しているのか、ホームページはあるものの、そのスケジュールや具体的な活動についてはあまり知られていない。そこで「すだちくん」が出演したインディゴソックスとソフトバンクの試合に密着し、どのような活動をしているのか取材した。子供や大人、性別を問わず笑顔をふりまく「すだちくん」に訪れた人も自然に笑顔になる。さらに、徳島県庁内にある地域創生推進課のすだちくん担当の方にどういった活動をしているのかもお話を伺った。みんなの知らない「すだちくん」の素顔に迫っていく。
3	ミズゴケのある山	VM	15:26～15:30	城東高校	県の7割以上を森林が占める徳島県。県内には数多くの名峰がありますが、知る人ぞ知る名所があります。それは、徳島県の真ん中近く、上勝町にそびえる「山犬嶽」です。標高997.2mのこの山は、大小さまざまな岩が軒がり、その険しさからかつて、山岳修行にも使われたこともあります。そんな山犬嶽ですが、近年はその岩に生ずるコケが目立っています。山の中腹付近にある岩には360度どこを見渡しても、青々としたミズゴケが生きているのです。自然豊かな徳島県のまだ知られていない自然。そんな徳島の魅力を伝えたいと思い作成しました。
4	いすを巡るチェアマンの想い	VM	15:30～15:36	徳島北高校	世の中にはF1や自転車レース、ポートルースやバイクレースなど、様々な種類の乗り物を使ったレースが存在するが、鳴門市の大道銀天街では椅子を使ったレースが行われている。その名も「いす1グランプリ」。このレースはその名の通り、キャスター付きの事務椅子を使用する大会であり、選手達は椅子を2時間も走らせ続けなければならない。マイナーではあるが、奥が深い競技の魅力や、実際に部員が椅子を走らせることでいす1の過酷さを体感した。そして、いす1を皮切りに商店街を盛り上げようと試みる実行委員長の平松さんの元を訪れ、これからの大道銀天街の未来について伺った。
5	100年目の僕たちへ	VM	15:36～15:41	徳島市立高校	年末になるとよく耳にする、ベートーベン作曲の第九。実は、第九がアジアで初めて演奏された場所が、徳島県なのです。何故全国的にも知名度が低い徳島県が、世界的に有名な第九アジア初演の地になったのでしょうか。その理由は、第一次世界大戦時、中国でのドイツ軍降伏の歴史からはじまります。人と人との交流、人から人への思いやり。これらによって伝えられた第九は、今年で初演100年を迎えることができました。100年たった今、改めて第九のもつ意味を考えなおすと、「100年目の僕たちへ」も通じる、平和への思いがあったのです。
昨	踊り子の想い	ビデオメッセージ	15:41～15:47	徳島市立高校	★昨年度最優秀作品

※今回は参加作品が少なかったため、全エントリー作品を上映します